

普及活動情勢報告（令和8年2月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

次年度、その先の収量安定化を目指して ～ユズせん定現地検討会～



検討会の様子

2月5、17日に、ユズ生産者ほ場にて、高知市土佐山柚子生産組合及び鏡支所果樹部会のユズせん定現地検討会が開催されました。

普及所からは、令和8年度の果実を確保するためのせん定について指導し、高知市ゆず専門営農指導員とともに、結果母枝の見分け方、骨格枝を意識したせん定などについて、生産者と議論しながら実演しました。

生産者からは「結果母枝の考え方がわかった」「枝の更新方法がわかった」など意見があり、各々のほ場でのせん定をイメージしてもらうことができました。

今後も普及所は技術情報を提供し、高知市北部のユズ産地の活動を支援していきます。

安心・安全な生産に向けて ～トマトのJGAP～



GAP指導の様子

2月18日に、高知市春野のトマト生産法人を対象にJGAP認証更新審査が行われました。

普及所は、更新審査に向けて、ほ場や農産物取り扱い施設、農薬保管庫の確認記録の点検活動を支援しました。

その結果農家からは、「毎年のことだが、改めて気づくことも多い。是正にはならなかったが、ご指摘いただいた点については、来年の審査までには改善していきたい」と、改善に対する意欲がうかがえました。

今後も普及所は生産者のGAPの取組を支援していきます。

令和 7 年度の取組状況を報告 ～第 2 回高知地区農業改良普及推進協議会～



実績を説明

2 月 20 日、高知農業改良普及所において普及推進協議会を開催し、農家委員及び関係機関、普及所職員など 29 名が出席しました。

普及所から令和 7 年度に取り組んだ重点課題及び一般課題の進捗状況を報告するとともに、関連する情報を提供し、意見交換を行いました。

出席者からは、就農相談会への農家参加の呼びかけや、将来の担い手不足を懸念する声が上がったほか、ユズの収穫人材確保の難しさ、また、法人化を進めるにはメリット・デメリットの見える化が重要との意見がありました。

普及所は、今回の意見を次年度の普及計画に反映させ、地域や農家の課題解決に取り組んでいきます。